

協働による取組みの指針（活動事例をもとに）

みどりの将来像を実現するためには、地域の特徴を活かしながら、市民、活動団体、企業、大学など専門機関、行政の協働によるみどりづくりや守り・育てる取組みが欠かせません。

ここでは、地域の特徴を活かしたみどりづくりのあり方と、それぞれの担い手によるみどりを守り・育てる具体的な取組み例を、住宅地、商業地・業務地、川沿い、里山、里地地域をモデルケースとして提示します。

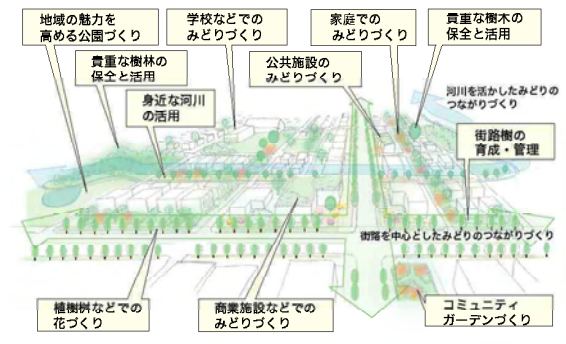
■地域のみどりづくりや守り・育てる担い手の主な役割

市民	自宅での庭づくりや公共空間などのみどりづくりを通じた地域のみどりづくりに協力・参加するほか、活動団体の活動に参加・参画することにより、みどり豊かなまちづくりに取組みましょう。
活動団体	独自の緑化活動をはじめ、行政と協力しながら協働による活動を行うことにより、みどり豊かなまちづくりに取組みましょう。また、市民への情報発信、アドバイスを行うなど、緑化活動の機運を高める先導役として、さっぽろのみどりづくりを支えましょう。
企業	CSR(企業の社会的責任)や社員の環境意識の啓発、所有地の緑化など、独自の緑化活動のほか、市民活動への資材などの提供、人材の提供など、緑化活動に参加・参画することにより、地域のまちづくりに取組みましょう。
大学など専門機関	専門的・学術的な視点から、情報の発信や地域の緑化活動へのアドバイスなどの支援をはじめ、大学自ら地域と連携して緑化活動に参加・参画することにより、地域のまちづくりに取組みましょう。
行政	情報提供や、活動の場や機会、資材の提供などの支援や活動のコーディネートといった調整・誘導のほか、活動にかかわる人材育成などの基盤づくりを行い、市民などの活動の促進を図り、みどり豊かなさっぽろのまちづくりを推進します。

①住宅地での活動の取組み

住宅地でのみどりづくりは、住宅の庭や商業施設などの民有地での緑化を自ら行うことのほか、既存のみどりの保全、街路や公共施設などの空間における地域の歴史や文化を感じる花づくりや並木づくりといった緑化活動を行うことで、特徴あるみどり豊かなおもしろい住環境づくりを目指しましょう。

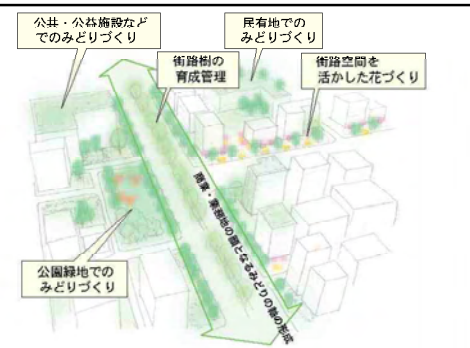
- 活動方針**
- 民有地を活かしたみどり豊かな環境づくり
 - 街路を中心としたみどりのつながりづくり
 - 地域のみどり・花の拠点(コア)づくり
 - 河川を活かしたみどりのつながりづくり



②商業・業務地での活動の取組み

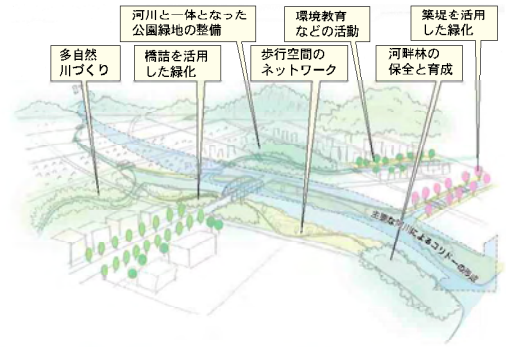
商業地でのみどりづくりは、拠点となる主な公共・公益施設のほか、民有地での建築物やオープンスペースでの緑化、コンテナによる緑化を積極的に進めながら、多くの人を迎え入れる、質の高いみどりに彩られた商業・業務地の環境づくりを目指しましょう。

- 活動方針**
- 商業・業務地の顔となるみどりの軸の形成
 - 歩いて楽しい花による街並みづくり
 - 公共施設・公園緑地などでの質の高いみどりの憩い空間づくり



③川沿いでの活動の取組み

河川沿いでのみどりづくりは、周辺の土地利用状況に応じて、生物の生息・移動空間、都市環境、防災面などを考慮にいれながら、みどりの保全・創出・活用を進め、札幌のみどりの骨格をつくり、うるおいのある都市環境づくりを目指しましょう。

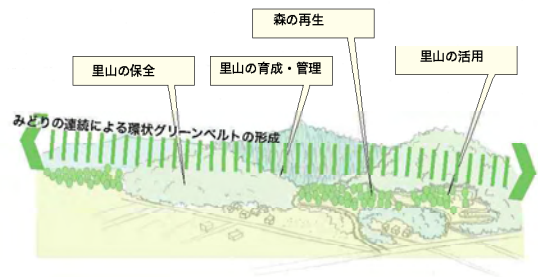


- 活動方針**
- 水を中心としたネットワークづくり
 - 河川空間を活用したうるおいある都市環境づくり
 - 河川を活用した活動の推進



④里山での活動の取組み

市街地をとりまく里山のみどりは、都市環境を形成する貴重な樹林の一部であることから、生物の生息移動空間として育成・管理に努め、みどりとふれあう活動の場として活用し、札幌らしい良好な都市景観・都市環境の維持向上を目指しましょう。

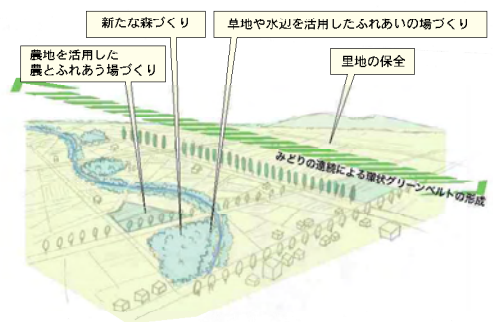


- 活動方針**
- 里山の保全
 - 里山の育成・管理
 - 里山の活用



⑤里地での活動の取組み

市街地をとりまく農地や草地、里地のみどりは、生産の場・生物の生息移動空間として維持していくほか、市民のみどりとふれあうライフスタイルのフィールドとして活用し、札幌らしい良好な都市景観・都市環境の維持向上を目指しましょう。



- 活動方針**
- 里地らしい景観の保全と創出
 - 里地の活用
 - 新たな森づくり



みどりの将来像の実現に向けた目標

札幌市が目指す4つのみどりの将来像を実現するため、以下の様な目標を定めることを検討しています。

●「私たちが守り・はぐくむみどり」に向けた目標

市民・活動団体・企業など、より多くの人たちがみどりの活動にかかわることやその活動の充実度が大切なことから、みどりの活動を実践している市民の割合やその活動の充実度などを目標とします。

●「私たちの歴史と文化が薫る個性豊かなみどり」に向けた目標

街中のみどりの質向上を目指すことから、街中の樹林率や地域のみどりに対する市民の満足度などを目標とします。

●「地球環境を守り、私たちと自然が身近に共生するみどり」に向けた目標

街をとりまくみどりを保全・創出することはもちろんのこと、これらのみどりの公益的な機能を効果的に発揮させることが必要なことから、市民・活動団体・企業などが森林を良好に育成するための管理・活用している面積などを目標とします。

●「私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり」に向けた目標

市民にとって身近なみどりである公園を有効に利用されることが重要なことから、公園の利活用などに対する満足度などを目標とします。

計画の進行管理

緑の基本計画が目指すみどりの将来像の実現に向けて、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Act)のPDCAサイクルの考え方で進行管理を行います。

